

災害時に介護が必要な 災害弱者を守るには

東日本大震災をはじめ災害での避難生活は、体力がある大人ばかりではなく、高齢者や幼児、持病を抱える方など様々な方が困難な生活を強いられます。「災害弱者(この場合は介護が必要とする高齢者)の中でも、認知症の方は全国に200万人いらっしゃるとされ、今回の避難生活者の中に1万人程度いるといわれています」と上原さん。



一般社団法人 全国介護者支援協議会
会長 上原 喜光さん
<http://zenkaikyo.or.jp/>

災害弱者のための「福祉避難所」

認知症は台所のガスをつけたのを忘れて、散歩に行き迷子になったり、大きな声を出してしまったり、と多くの危険をはらんでいます。これらのことから避難所では迷惑がかかるから、と介護する側も車の中で一緒に生活をしたり、多くの困難が生じることになります。今回の被災地には「福祉避難所」を設けている自治体(仙台市は52か所)もあります。要介護者がいる家庭は調べておくといいでしょ。また、夜中に大声をあげたり、徘徊する高齢者を見かけたら優しくゆっくり話をすること。周囲は「お互い様」のおおらかな気持ちで見守る事が大切です。

介護

いざという時に必要となる 今からまとめておきたい情報

- ◎氏名
- ◎生年月日
- ◎血液型
- ◎住所
- ◎家族の連絡先
- ◎かかりつけ医
- ◎持病など
- ◎ケアマネジャーなど関係機関
- ◎医療・介護で特に注意すべき点
- ◎薬や病歴など一覧表にしておく
- ◎保険証のコピーや顔写真も用意しておくとうい
- ◎人工呼吸器などの利用者は提供会社も
- ◎保険証のコピー、顔写真があれば本人確認に役立つ



- ◎被災者支援相談窓口 ☎022-214-3805
- ◎健康福祉局障害企画課 ☎022-214-8163
- ◎介護たすけあいホームページ あったかタウン
<http://www.kaigo-town.jp/>
- ◎宮城県や仙台市ではまだ浸透していませんが「防災ワッペン」など様々な防災のためのアイデアが詰まったHPです。
<http://p-s-sakai.net/index.html>